議会モニター会議 会議録

- 1 日 時 令和5年7月13日(木)
19時00分開会 20時13分閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 議会モニター
出席委員：出田牧子、北村光明、吉國和則
欠席委員：大野春雄、鈴木謙三、三浦明彦
- 4 議 員
出席議員 議長：山下清美
議会運営委員会：橋本晃明委員長、只野敏彦副委員長
川上 均、深沼達生
傍聴議員：山本奈央、田村幸紀、鈴木孝寿、桜井崇裕
西山輝和、中島里司
欠席議員 中河つる子、佐藤幸一
- 5 事務局 事務局長：大尾 智、次長：川口二郎
- 6 次 第 ①開会
②挨拶
③参加者紹介
④議会活動報告
⑤意見交換
⑥質疑
⑦閉会・挨拶
- 7 会議録 別紙のとおり

議会モニター会議

【開会 19:00 閉会 20:13】 令和5年7月13日

1 開会

- 司会（只野敏彦）：時間となりましたので令和5年度第1回議会モニター会議を開催します。本日の進行を務める議会運営委員会副委員長の只野敏彦です。お手元のレジメに沿って会議を進めさせていただきます。
まず、会議の開催にあたり清水町議会議長山下清美よりご挨拶申し上げます。

2 挨拶

- 議長（山下清美）：皆様、こんばんは。今回は議会モニターの制度にご理解いただき公募いただきました6名の皆様、本当にありがとうございます。この2年間議会に対して、議会の進め方、議会だより、あるいは議会からの発信の内容についてそれぞれご意見をいただきながら、今後の議会の運営を進める形でまいりたいと思います。忌憚のないご意見を頂ければありがたいと思います。
夜も遅い7時からという時間帯に来ていただき本当にありがとうございます。少ない時間ではありますがよろしく願いいたします。

3 参加者紹介

- 司会（只野敏彦）：本年度から2年間の任期で6名の方に議会モニターを委嘱いたしました。本日は2名が欠席で2名が遅れて来るとのことですが、北村モニターから自己紹介をお願いします。
- 議会モニター（北村光明）：モニターは2期目ですが、引き続きさせていただき北村光明です。自分なりの経験と想いを述べさせていただきたいと思っておりますし、それが清水町のためになることだと信じていますので、今後ともよろしく申し上げます。
- 議会モニター（吉國和則）：議会モニターとしては新人ですけれども、吉國和則と申します。2年間議会モニターの目的であります町議会の運営と更なる強化に寄与できますように努力いたしますので、よろしく願いいたします。
- 議長・議会運営委員・事務局（各自、自己紹介）
- 司会（只野敏彦）：議会運営委員以外の議員も参加しておりますので、よろしく申し上げます。

4 議会活動報告

- 司会（只野敏彦）：お手元の令和5年度議会活動報告と書かれた資料をご覧ください。ちょっと長いので、何ページにも亘っておりますので、要点は2ページ目の第4回定例会ですが読んでいただいて、次の項目に移りたいと思います。

5 意見交換

- 司会（只野敏彦）：それでは意見交換に入りますが、本日のモニター会議の終了時刻は20時30分を目途とさせていただきます。
ここからの進行は、議会運営委員会委員長であります橋本晃明により進めてま

るのではないかといつも思っています。

- 議会運営委員長（橋本晃明）：ただ今のことについては、ほかのモニターの皆さんは何かございますか。
（意見なし）

（２）議会のホームページやインターネット中継を見て感じたこと

- 議会運営委員長（橋本晃明）：議会のホームページやインターネット中継を見て感じたことについて、どなたの質問でしょうか。
- 議会モニター（吉國和則）：はい。議会モニターというのをネットで清水町議会で検索したら、モニター募集しか出てこなくて、肝心のモニターの資料、浦幌は10ページに亘り見やすく図で詳しく解りやすく字のポイントを大きくして紹介しています。清水町は要綱でおそらく仕切っていると思うのですが、A4で裏表ぐらいかなと思って、他の町村は意外と大きく取り上げている、たまたま浦幌町でしたけれども。清水町ホームページの中に議会モニターの欄を作ると、多くの町民が議会モニターに対して興味を示す、2年に1回募集したら抽選になるくらいに活性化になるのではと感じたので書かせていただきました。お金もかからないと思うのですよ、清水町議会のホームページにモニターのページ作っても。
ただ、浦幌と芽室と広尾ですか、十勝でモニターがあるのは。そういった意味では、清水町すごいなと、令和元年から作ったから。進んではいるのだけれども、更なる前進をするためには、お金をかけずに事務局にお願いすると、町民でモニターを知らない人も多いと思ったので書かせていただきました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：皆さんいかがですか。ご意見ありますか。
- モニター（出田牧子）：ほかに書いていることと重なってしまうのですが、モニターはわざわざ傍聴しに来なくても、ユーチューブで録画されているのを見なくても聴いているだけで分かるので、もっと若い人や子育て世代の人とかに参加して欲しいと思います。ハードルが高いとってしまうとか、面倒だと思うのですが、実際に関わることができるということを、若い人がやる気になるような方法を宣伝するとか、何か工夫したらいいのではと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：次、インターネット中継について書かれていますが、この意見はどなたでしょうか。
- 議会モニター（吉國和則）：はい。予算決算委員会は他町村も中継しています。これはお金がかかるのでできないかもしれませんが、議会運営委員会、総務産業、厚生文教、もしネット環境があれば、第1、第2委員会室で常任委員会をやっているの、そこにネット環境を整備して、将来的には町民も見られるようにすれば、何を議員がされているのかというのは分かりやすい。ただ、お金かかることなので検討してほしいという意見です。
- 議会モニター（北村光明）：私も常設の委員会での審議内容をインターネット中継していただけないかという意見を出しました。ぜひとも検討していただきたいと思います。インターネット中継で言うと、休憩後の再開がいつになるか分からない状況は辛いと書いたのですが、例えば一般質問90分あって昼に近くなった時には、議長からの休憩では再開は何時からと提示されるのですが、突然臨時で休憩が入った場合は、いつ再開するのかずっと休憩が続くのか分からないのは辛いかなと思います。見通しがなくても何分とか決めたほうがいいのではないかと思います。1時間も空いたら次は誰も見なくなるだろうし、続けては見ないのだろうなと思います。なぜ休憩に入ったのか分からないケースもあるので、そこは町民に分かるようにしてもいいのかなと思いました。
- 議会モニター（出田牧子）：以前に何か調べものをして行って1時間ぐらい帰ってこなかったことがあったような気がしたので、傍聴していて待っているならいいのですが、インターネット中継を見ながら待っているのは辛いと思います。長くなりそうなきときは言ったほうがいいのかと思いました。

- 議会モニター（北村光明）：今の話は議員側からの要請があつて休憩に入ったのだと思うのですが、理事者側からの要請、例えば一般質問の質問内容がよく分からないとかということで休憩に入ったこともありますので、そこらへんは事前に説明しているはずなのに、どうしてあんなったのかなと思ったこともあります。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：吉國さんから委員会も中継したらどうかというご提案がありました。これについては議員にもそういう考え方を持っているということもあるようですし、今後議会活性化の議論の中でそういったテーマを設けて進めていきたいなと思っております。やる、やらないはここで私が答える訳にはいきませんが進めていきたいなと思えます。
議会の進行について、議長何かありますか。
- 議長（山下清美）：休憩について、私はできるだけいつ再開と言っているつもりでしたが、もしそういうことがあるようであれば、休憩がスタートした時点で、今後目途をきちっと伝えるような形で進めたいなと考えております。

（3）議会だよりを読んで感じたこと

- 議会運営委員長（橋本晃明）：次に議会だよりを読んで感じたことということでご意見をいただいておりますけれど、これについてはどなたですか。
- 議会モニター（吉國和則）：はい。①なのですけれど、色付き網掛けを使うなどわかりやすい構成で改善されているというのは、ずっと読んでいくと令和元年5月号までは網掛けがピンクだったのです。それが158号、令和元年8月号から、私だけかもしれないかもしれませんが、十勝晴れをイメージした青色の網掛けにした。そしてもっと要所は赤にした。157と158を比べると見やすくなった。これはすごく進歩したので、当然モニターの意見として、見やすくなったのでこれからももっと見やすくしてほしいとして書きました。
- 議会モニター（北村光明）：私も議会だよりは広報では解らないことも補足的に書かれていることもありますし、ちょっと違うのだなということ、差別化されているのはいいことだと思います。もうちょっと言うならば、理事者側の考えと違う意見なり考え方が議会のほうにあったら、そういうものも紹介していただいて結構じゃないかと思えます。そのことが両方読むことによって、どういった議論になったのかとかどういった問題があるかということが町民も分かるのではないかと思います。担当は広報広聴委員会かと思えますが、議会らしい観点で示されてもいいのではないか、それが二元代表制での議会の役割ではないかと思えます。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：ほかにありますか。
- 議会モニター（出田牧子）：私の書いた③ですが、清水町の議会だよりは見やすく面白そうと新得の人が言ってくれたのと、たまに傍聴した内容と書いていることの印象が違うことがあるので、人それぞれ思うことや感じることは色々だと思うので、議会だよりだけではなくて、多くの人に傍聴してほしいなと思いました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：議会だより経費削減のために、というのはどなたですか。
- 事務局長（大尾 智）：これは今日出席されていない方からの意見です。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：吉國さんからは、網掛けの色が見やすくなったとかいう意見がありましたけれど、経費を削減するためにカラーページっているのだろうかとか、丁寧に説明されているが役割からはみ出ている部分はないか、ここは本人から聞かないとわからない部分ですが、4番目について皆さんからご意見はありますか。
(意見なし)
- 議会運営委員（深沼達生）：議会だよりを読んで、字の大きさとか気になったことはありますか。若い人と年齢のいっている人でそれぞれ、字が見づらいとかあるのかと思うのですが、なるべく大きくはしているとは思いますが。
- 議会モニター（北村光明）：あまり気にはなりません。
- 議会モニター（吉國和則）：お知らせ版からみたら大きいですよ。大きさとしてはすごく

見やすいですよ

- 議会運営委員（深沼達生）：大丈夫ですね。
- 議会モニター（吉國和則）：2年前のモニター会議の結果が議会だよりに出ていたのですが、同じことを言うのですが、一般質問の時に似顔絵を公開しているじゃないですか、2年たっても同じなのですけど、議員さんイコール強面と言ったら失礼ですけど、そういったイメージがあるとしたら似顔絵で随分救われる、身近に感じられる議会だよりになっているかなと思います。
- 議会モニター（北村光明）：意見票には書かなかったのですが、一般質問の内容が以前より分かりづらくなっているかなという感じがします。一般質問の中身について、要約は質問した議員ではない人がしていると思うのですが、どういうやり方が分かりませんが、ポイントとかが分からなくなっているかなと、以前のほうが羅列的に書かれていたのでどういうところが論点だったのかというのが分かるのですが、今むしろ分かりづらくなっているのではないかなという気がします。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：モニター会議の要綱とかあるのですが、本来は議会運営委員会で会議を行うことになっていますが、議運と広報委員は被らないようになっているので、広報委員の議員さんもみえていますので、吉國さん北村さんからご指摘のあった部分についてどうなのか、意見交換したいなと思いますが、委員長にということではないですが、見解持たれている方がいらっしゃれば。
- 傍聴議員（田村幸紀）：はい。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：田村議員
- 傍聴議員（田村幸紀）：広報広聴常任委員会の田村と申します。今たくさんご意見いただいたことはとても参考になることだと思います。広報は見やすく伝えたい、伝わる内容にしっかりと作っていくというのは基本だと思っていますので、広報広聴常任委員会の皆で努力してやっていくことには変わりございませんので、これからも頑張っていくという気持ちです。

ご質問の中で、一般質問の記載のことをご意見いただきましたが、今一般質問の質問要旨と答弁要約というのは質問した議員に作っていただいて、それを基に担当の委員が研さんして広報に載せるという形でやっていますので、一回目の質問から再質問まででどこを書くかは本人が解っていることなので、それをまず作っていただいて、担当で確認して載せているのが現状でございます。読んだ時の印象でちょっと読みづらいというのは、担当として研さんする我々のほうでもっと読みやすいような努力はしていきたいと思っています。
- 議会モニター（北村光明）：ページそのものが少なくなっているのではないのでしょうか。広報広聴委員会で作るようになる以前と比べたら、文書自体が少なくなっているのではないのでしょうか。
- 傍聴議員（田村幸紀）：質問の中身と回答は、文字数の制限で皆さんそれぞれまとめて作っているのですけど。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：広報委員会の皆さんも今日のために検討してきたわけではないので、まとめることになる立場が違ってきますので。いずれにしても今日はせっかく良い機会ですので、繋がるように進めていくことが大事かなと思います。
- 議会運営委員（川上 均）：この間まで広報委員長でしたので。字数制限450字と決まっているので、私自身もその字数制限を拡大して掲載できるような形を、今後議運として議会活性化の中で、議会だよりも当然中に入ってくると思うので、広報常任委員会と十分に相談しながら議論していきたいなと思っています。
- 議会モニター（北村光明）：今説明していただいたので、例えば質問項目が1項目の人についてはある程度確保できるけれども、5項目も持っているような人はどっか割愛せざるを得ないし、一つだけに絞らざるを得ないし、他のやつは全然載ってこないということになりますよね。そこら辺を全体としての字数制限のある中でどうされていくのかが課題かと、費用面もあるかのかもしれないけど。費用のことを言いますと、なんのために出すかということでも自ずから見えてくるのではないのでしょうか。

○議会運営委員長（橋本晃明）：前向きに取り組んでいけばいいのかと思います。

（４）議会の進行でよくわからないこと

○議会運営委員長（橋本晃明）：次に進んでよろしいですか。議会の進行でよくわからない、疑問を感じることにについて、これはどなたから出ていますか。局長、これは今日みえてない方の意見ですか。

○事務局長（大尾 智）：休憩の部分は北村さんです。これについては先ほどインターネット中継のところでお話いただいたのでよろしいかなと思います。

○議会モニター（出田牧子）：②は私が書いたのですが、質問と言いながら要望を話し続けている議員や同じ答弁しかできないことを何度も繰り返している議員が見られるって、別の議員が２人いるみたいなのですが、質問と言いながら要望を話し続けながら、同じ答弁しかできないことを何度も繰り返している議員が見られるって繋がっていることで、しかも一人だけじゃないしずっと何年も続いているので。嫌みな態度とか言葉遣いも悪かったりする、そういうことは最近減ってきてだいぶましになったとは思うのですが、何年も同じだから治らないのかなとも思うのですが、ユーチューブで世界中の人が見ていることなので、もうちょっと上手にやってくれたらいいなと思いました。

○議会運営委員長（橋本晃明）：ほかのモニターの方、これについては。

○議会モニター（北村光明）：質問と要望の関係なのですが、議員の所感を言う場合もあるのですが、一般質問においては質問を通じて問題点なり理事者側の答弁を引き出す、ということをやられてもいいのではないかと。同じことを何回も繰り返すのではなくて、そういう場合は切り口を変えていただくとか、ということを経長のほうから求めるかは別として、やってもいいのではと今話を聞いていました。

○議会運営委員長（橋本晃明）：昔から課題として、質問の仕方とかあるのかなと思いますけど。

3番の以前と比較すると、随分と効率化されていると思います、というのはどういう意味なのだろう。

○事務局長（大尾 智）：本日欠席されている方のご意見です。ほぼこのとおりの内容でしたので、詳しくはわかりません。

○議会モニター（北村光明）：スムーズに進んでいるということでしょうか。

○事務局長（大尾 智）：そうだと思います。

○議会運営委員長（橋本晃明）：これは議会の進行ということもありますので、議長にちょっと述べてもらいたいと思います。

○議長（山下清美）：議会の進行の部分ですが、それぞれ議員の伝えたい部分もありますので、そこら辺を重要視しながら。議員はそれぞれ町民の皆さんから選ばれた方々ですので、そういった部分を重要視しながら議会運営を進めていきたいと考えております。こういったご意見があるということは聞き置きまして、これからの議会運営の中で参考になるものがあれば参考とさせていただきたいと思います。休憩の関係は先ほど話させていただきましたので省略させていただきます。

○議会運営委員長（橋本晃明）：議論がかみ合って進んでいくようにということで、議会運営委員長としても、町民の方に分かりやすい議論をしてほしいというのは議会の当初で毎回言わせてもらっていますけど、大事な点だと思いますので今後も気を付けて進めていければと思っています。

（５）その他

○議会運営委員長（橋本晃明）：その他に移らせていただきたいと思います。町民との意見交換を行っているが、小規模な意見交換ができるように出前講座の実施を検討して欲しい、ということですが、吉國さん。

○議会モニター（吉國和則）：議会では町民との意見交換ということで、議会報告会という

ことで御影地区と清水地区でやっています。それはすごくいいことなのですが、まず事務局が、今出前講座というのは31やっているのですがいろいろな福祉分野とか、議会とはとか、委員会とはとか、議会用語でもいいのですが、それで31を32に増やしてもらって、まず一つ事務方がやってくれる、議会改革と関連しますけれども。

もう一つは、御影と清水の議員の報告会、それをコンパクト化したような、要するに、そこに出て発言するのってすごく勇気がいるのですよね。議員さんを小規模な団体、5人以上かな、31の講座は指摘したりということはしないで質問したりというルールなのですよね。そういったルールで議会でそういう出前講座みたいなことを考えれば、かなり活性化というか先進的な取り組みかなと思って。それはどういう方法かという具体的なものはないのです、イメージで言っているだけで。議会運営委員会で、私の言っていることの半分でも解ってもらえれば、活性化の一助になるのかなということで提案させていただきました。

- 議会運営委員長（橋本晃明）：ほかのモニターさんはいかがですか。
- 議会モニター（北村光明）：最後に言えばいいのかもしれませんが、今回のモニター会議意見票ということでいくと、意見を出しやすくということで分けていただいたのですが、無いテーマについては書けないので、もう一つくらい自由に書ける問いかけがあってもいいのではないかと思います。
出前講座について聞かれたのでしょうか。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：それ以外についても後で時間ありますので。
- 議会モニター（北村光明）：もっとざっくばらんに話せる場があってもいいのかなと、小委規模で。それは賛成します。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：次、政務活動費の導入を検討してはどうかというご意見は。吉國さん。
- 議会モニター（吉國和則）：政務活動費、勉強させていただきました。地方自治法に基づき条例で定めて、議員が調査研究のため必要な経費の一部を交付する。実際にやっているのは、音更町が会派にしています。一番近いところでは鹿追町が月1万円、支出を明確にするため当然帳簿を付けて、その中に支出できるものと出来ないもの。一番分かりやすいのは、議員さん個々が広報誌を作って配るというのも広報活動として認められるようなものかなと。それからもう一つ、研修、いろいろな委員会で研修行くのはともかく、議員の立場で研修に参加することがあるじゃないですか、鹿追町でタウンミーティングとか。そういう時に経費としてかかるガソリン代とか、最低そのぐらい政務活動費として、もしそういう制度ができれば。
私が言っているのは、議員の報酬を上げるとか上げないとか町民が感じるのではなくて、政務活動費を条例で定めればもっと議員が動きやすくなるのではないかと。当然公費でそうなれば報告書も作らなければならないですよ。それを一つ検討してほしいのです。議員さんが決めることなのですが、前向きに検討してくれると、もっと町民が議員の活動を理解しやすくなるというかアピールしてくれるわけですから、検討していただけたらいいと思います。

- 議会運営委員長（橋本晃明）：政務活動費について、他の方の意見も伺います。
- 議会モニター（北村光明）：政務活動費は国のやつもそうですけれども、地方議会、県議会程度でも用途が不明だとか問題が起きていることが多いので、そこら辺僕は慎重であっていいかなと。実質本当に研修に使うなりなんなりということをもっと明確にする必要があると思っています。

ずっと見てきた中では、世の中議会改革といたら議員定数を減らすことを多くやられてきたのですが、むしろ逆に増やしていくべきじゃないか。議員歳費を減らしてでも増やしていくほうが、もっと議会は活性化していくのではないかと考えている方なので、こういうことを言うと大体嫌われてきたので。新規の議員の方が議員として最低限必要なことの研修に、議会として費用を出していいのではないかとことを求めてきたこともありましたが、そうであってもいいかなと思っていますので、研修だとかはそれなりの裏付けのある形でのことができるな

ら、それも必要なのかなと思っています。そもそも議員報酬は何のため出されているのかというのは、それぞれの人の意識が違うので一概にこうだと言えないものです。

- 議会運営委員長（橋本晃明）：出田さんはいかがですか。
- 議会モニター（出田牧子）：このことについては、私はまだ良く分からないので、北村さんは議員をやっていたことがあるから分かるかと思うのですが、ちょっと分からないです。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：政務活動費どうするかという部分については、議会活性化の議論が始まればその中で必然的に検討されていくものとは思いますが。
次に参りますが、一般質問は議会活性のバロメーターであり、清水町は毎回6割以上の議員の一般質問があつて活性化へ向かっているのではないかと。
- 議会モニター（吉國和則）：はい。4月に統一地方選があつて、各町村での一般質問の数は多くなりました。しかし、清水議会はここ数年、もっとになるけれども、大体6割以上の方、議長を除くと7割くらいになるのですが、一般質問をしているということは、それだけいろいろなアンテナを張って地域の声を聴いたりして質問していると思うので、そこは活性化に向かっているんじゃないかと。一般質問の内容じゃなくて、それだけ議員さんが町民の声を聴いているという意味では、勉強なさっていると思うし、活性化に向かつて努力されているのではないかとこの観点から書きました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：北村さん、出田さんはいかがですか。
- 議会モニター（北村光明）：一般質問は議会活性のバロメーターであるというのは、僕も全くその通りだと思います。清水町議会というのは、一般質問というのは比較的自由にできます、時間制限はありますけど。道議会だとか帯広市議会などを見ていると、一般質問を事前に出して議員として引き出したい回答があるとか無いとかが事前に調整されて、決まったらそれをやるという、一種の形だけのセレモニー的な議会になりがちなのですが、それだけに清水町は自由にできるのでハプニングも起きやすい要素があるけれど、むしろそれは大事にすべきではないかなと思っています。
活性化ということでは、毎回選挙も続いていますし、議員のなり手が無いということもあまり無いというように思っています。ある意味では清水町議会は、話ちょっと飛びますけれど、模擬議会なんかもよくやっているし、いい方向には進んでいるなとは思っています。
- 議会モニター（出田牧子）：私が思ったのは、何年間もずっとフロイデの看板どうするかというのを何日も何時間もずっとやっていたイメージがあつて。でも今回、子育て世代の山本議員が入ってくれたので、子どもの具体的な話が聞けたりとか、橋本さんがいつも皆が困っている防風林のこととかをいろいろ調べてと言ってくれたりとか、町民の生活に実際に関わっていることをいろいろ議論してくれるようになって、見ていても面白いし興味深いし、活性化して嬉しいなどは思っていました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：次、4番目の議会運営がスムーズにいており安心して居る。議会の活性化イコール町の活性化であり、今後の尽力に期待する、これは。
- 事務局長（大尾 智）：今日欠席の方の意見です。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：だいたい色々な意見というものを、今後の議会活性の議論の中で生かしていきたいなと思いますので、またこれからもよろしく願いいたします。
- 議会モニター（北村光明）：いいですか。出田さんが発言されたことで、今回は意見票に書かなかったのですが、過去に何回か取り上げられたテーマ、一時期年間の間で複数の議員が質問したようなことについて、所管の委員会か何かでテーマとして取り上げてやるとか。過去に理事者側がやると言ったことが実施されていないものについての検証とか、そういうことは是非とも議会でやってもらいたいと感じていますので、述べさせていただきます。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：いいですねともやりますとも言えませんが、検討してまい

りたいと思います。

- 議会モニター（出田牧子）：例えばフロイデの看板のことについて誰かが言って終わったら、また他の人が同じ質問をしてまた役場が同じことを繰り返して答えるということ、何日もやっていたことがあったので、そこは整理してやってくれたら良かったなと思いました。
- 議会モニター（北村光明）：議会として少し整理したほうがいい。
- 議会モニター（出田牧子）：先に聞いて役場の人が答えたら、同じ質問を他の人がしなきゃいけないのかなということなのですよ、もう返答していることを。仕組みがどうなっているか分からないですけど、見ているほうは、質問者が違うからといって役場が同じ答えを繰り返すのを何時間もやってもいいのかなと思っていました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：はい、川上委員。
- 議会運営委員（川上 均）：本当にそう思うのですよね。今の議会でうちに足りないのは、議員間同士で議論されていない、それが保証されていないのが現状だと思うのです。それは、活性化の中で議論しようと思っているんですけども、議員同士でそういうテーマについて議論して、一つの全体の共通認識を持ちながら進めていくのも今後必要かなと、私は思っています。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：同じ質問を繰り返してもというのはあるかもしれないですけど、それぞれの立場でまた別の質問をするということはあるのかなと。いずれにしても、議会の運営がより分かりやすいものになるようにということは、これからも議論を続けていきたいと思っています。
この機会ですから、その他でもまだあれば出させていただきたいと思います。
- 議会モニター（北村光明）よく、他の市町村でも役場と議会は町政における車の両輪だ、みたいな言い方がされます。そして、仕組み的に言うと国の仕組みとは違って、地方議会は二元代表制ということで、それぞれが直接選挙で選ばれる。二元代表制があるがゆえに色々問題もあるのですけれど、そのことが一般町民というか関わっていない人はあまり分からないのですよね。存在の役割というか違いみたいなものを、議会だよりかなんなりかで解りやすく説明したほうがいいのではないのでしょうか。そうでないと単に議会が反発しているとか、理事者がどうだこうだとかという話で、一般町民の話もそれで終わってしまうような気がする。うまくいっていないのは、立場の違いのなかでバランスよく協力しあってやっていくことで、その町が良くなるというふうに私は思っているので、是非ともそういう役割があるということも町民に言ったほうがいいんじゃないかなと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）それでは今日出されたテーマについては、この辺で留めておきたいと思います。どうもありがとうございました。
- 議会モニター（吉國和則）：本会議についてのユーチューブで傍聴したことを別紙で出したのですが、要点を3つほど言いたいのですが話していいですか。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：それぞれの議員の一般質問について感想が書かれていたので、添付はしたのですが本日のテーマには入れていませんでした。
個別のことではなくて、議会の活性化に資するというか、先ほどのことに関連することであれば伺いたいと思いますので。
- 議会モニター（吉國和則）：議員さんは実際にユーチューブで見るとは答弁者の席と、議員さんが話しているときにアップになる。その時思ったのは、例えば1番の議員が話している時に後ろもアップされて3人くらい映ってしまう。一番後ろの席の人が話すときは何もなく壁ですけど。その時にユーチューブでアップされてしまうので、議員さん個々に努力はしているとは思っただけですけども、さすがに寝ている人や読書している人はいないけれども、そこは清水町の代表で議会をやっているのだから気を付けてくださいということです。その1点だけ、みんな見えていますよということだけ。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：それではこれでテーマに沿って意見をいただくのは終わりにいたします。

司会にバトンタッチいたします。

6 質 疑

- 司会（只野敏彦）：それでは意見交換が終わりましたので、レジメに沿って6の質疑になります。意見交換されたので、ないのかなとは思いますが、何かございますか。
最後になりますので、言い忘れたことや気付いたことがあれば、おっしゃってください。無ければ終わりますので。北村モニター。
- 議会モニター（北村光明）：議会モニター制度というか、今日はメンバー3人しか来ていませんけど、どのように期待されているのか。はっきり言って、面倒くさい存在なのか、ありがたい存在なのか、どっちを望んでいるのか。議会だよりもモニターの会議の内容が出たりとか意見が出たりとか、そういうのがあってもいいのかなど。モニターも議会活動に参画していてもいいのではないかという思いがあります。どのように考えられているのか。
- 司会（只野敏彦）：それでは委員長から。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：それが議会の理解推進に繋がっていくのであれば、十分検討する必要があるかなと思っております。広報にモニターさんの声が載るようにするという事も含めて、広報委員会の中で検討していただければと思います。
- 司会（只野敏彦）：よろしいですか。
- 議会モニター（北村光明）：はい。

6 閉会・挨拶

- 司会（只野敏彦）：長時間に亘って、ご議論いただき感謝いたします。
閉会に当たりまして清水町議会副議長深沼達生よりご挨拶を申し上げます。
- 副議長（深沼達生）：今日は、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今回6名のモニターさんでありましたが、3人欠席ということで、また今年度中にやる予定をしているので、その時にはまた貴重なご意見をいただければと思っております。
本日はありがとうございました。
- 司会（只野敏彦）：以上で、令和5年度清水町議会第1回モニター会議を終了いたします。
ありがとうございました。